

当院のDCF療法による食道癌術前化学療法の治療成績

本学で実施しております以下の研究についてお知らせ致します。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究課題名	当院のDCF療法による食道癌術前化学療法の治療成績
倫理審査 受付番号	第 3903号
研究期間	2021年10月実施許可日～2026年 3月31日
研究対象情報の 取得期間	下記の期間に、上部消化管外科を受診された食道癌の方 2016年4月1日～2021年 3月31日
研究に用いる 試料・情報	カルテ情報
研究概要	<p>(研究目的・意義)</p> <p>食道癌の術前化学療法において、近年使用頻度が増えているドセタキセル+シスプラチン+5-FU療法(DCF療法)に関して、当院での2016年4月1日～2021年3月31日までの患者様を対象に、その安全性や有効性を後方視的に検討します。これにより、今後の当院での術前化学療法レジメン選択を含めた食道がん治療方針決定における判断材料となる可能性があります。</p> <p>(研究方法)</p> <p>2016年4月1日～2021年3月31日に術前にDCF療法を行った患者様を対象としています。ステージⅡ/Ⅲに対して行った患者様27名と切除不能局所進行癌に対してDCF療法後手術を行った患者様14名に分けて、それぞれ病理検査結果における治療効果(Grade)、化学療法試行回数、腫瘍のサイズ、好中球数、治癒切除できたかどうか、術後縫合不全が発生したかどうか、術後肺炎が発生したかどうか、縫合不全が発生したかどうか、最終生存確認日について調査します。</p> <p>(個人情報の取り扱い)</p> <p>収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した(匿名化といいます)上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。そのため、匿名化される前に参加拒否の申し出があった場合にのみ対象者から除外します。</p>

連絡先

兵庫医科大学病院 上部消化管外科

篠原 尚（研究責任者）

倉橋 康典（研究担当者）

TEL |（平日） 8 : 30 ~ 16 : 45 0798-45-6725

（上記時間以外） 0798-45-6111